

令和元年度 東京都看護職員地域確保支援事業

目的

離職した看護職が身近な地域で復職支援研修・再就業支援相談等を受けられる就業支援の仕組みを整備することで、潜在看護職の就業意欲を喚起し、再就業の促進を図る。

事業概要

東京都看護職員地域就業支援病院、独自研修実施施設、都立看護専門学校において、多様な復職支援研修を実施する。

(1) 手厚くしっかり体験コース

研修場所

東京都看護職員地域就業支援病院

※地域の看護職員確保対策の拠点(26病院)を東京都が指定。

特徴

- 就業協力員が、病院が実施する研修の企画等に関する支援を行う。
- 1、5、7日コースの研修において、講義・手技演習・病棟実習等を実施。
- 綿密な計画に基づいた研修において必要な知識や技術を修得することができるため、スムーズな復職に繋がる。

主な対象者

- すぐにも復職したい方
- 最新の看護技術を現場で体験してから復職したい方

実施形態

東京都看護協会(ナースプラザ)に委託して実施。病院への再委託により、研修等に係る委託料支払。

(2) 気軽にさくっと体験コース

研修場所

独自研修実施施設

※独自に研修を実施する都内施設

特徴

- 独自に実施する施設の研修をナースプラザが一括広報を行う。
- 研修内容等について、適宜就業協力員が助言を行う。
- 都内各地域で研修を実施するため、研修生にとってより身近な復職研修を受講することが可能になる。

主な対象者

- 復職に向けて、少しずつ準備をしたいと考えている方
- まずは身近な施設で、現場の雰囲気を感じたい方

実施形態

東京都看護協会(ナースプラザ)に委託して実施。受入実績に応じて、謝金及び参加者の保険にかかる費用を支払。

(3) 学校に戻って体験コース

研修場所

都立看護専門学校

特徴

- 都立看護専門学校に配置されている模擬病棟や実習室等で、地元の潜在看護職や卒業生に向けた研修を行う。
- 看護学生が実習に用いる機器等が豊富にあるため、じっくりと技術を再習得することができる。
- 現役の看護教員により、最新の看護の動向等を学ぶことができる。

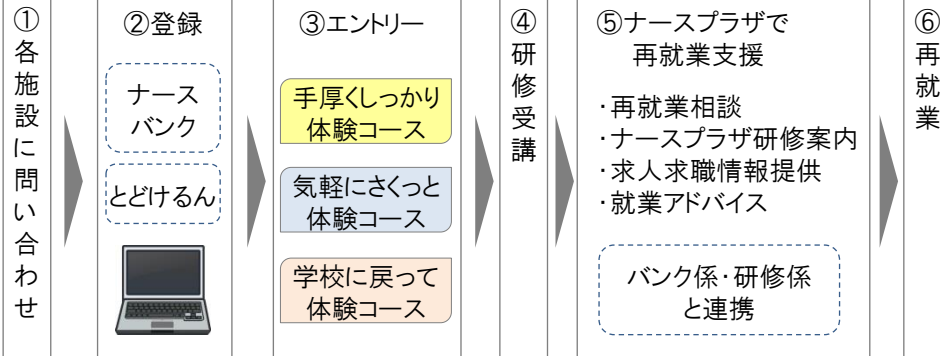
主な対象者

- トレーニングモデル等を用いて、基礎的なところから、看護技術を学び直したい方

実施形態

都立看護専門学校の運営費にて実施。

再就業までの流れ



東京都就業協力員の役割

【本部協力員】 (東京都ナースプラザに設置)

- ① 支援病院が実施する復職支援研修の企画等に関する支援
- ② 再就業を希望する看護職に対する再就業支援相談の実施、求人求職情報の提供及び就業に関するアドバイス
- ③ 地域の看護職員及び医療施設からの相談に対する助言及び情報提供
- ④ バンク係・研修係との連携

【支援病院協力員】 (地域就業支援病院に設置)

- ① 復職支援研修の実施、受講者への研修指導(講義、手技演習、病棟実習等)
- ② 本部協力員と連携し、復職支援研修受講者への再就業支援相談の実施
- ③ 本部協力員及びナースプラザと連携し、地域の求人求職に関する情報収集
- ④ 地域の看護職員及び医療施設からの相談に対する助言及び情報提供